

## はじめに

皆様におかれましては日々ご清祥のこととお慶び申し上げます。今年度も学校保健会の編集委員のご尽力により「いびの子のからだ」が編集刊行されました。

コロナ禍の社会環境や生活環境の急激な変化は、子供の心身の健康にも大きな影響を与えました。全国の児童生徒が、学校生活においてコミュニケーション不足からのストレス・抑うつなどが原因による不登校、また運動不足による体力低下が数値として示されるようになりました。さらに、デジタル社会が加速し、少なからずその弊害と思われる視力低下が見受けられるようになりました。

課題解決には、今後も学校・家庭・地域が一体となり、揖斐郡学校保健会が考える“自らの健康に関心を持ち、自らの健康維持増進に努めようとする意欲や態度をもって主体的な健康づくり”を育む教育を継続していく必要があると考えています。結果、生涯にわたり心豊かに生活できる子供の育成が重要とされます。

この状況下「いびの子のからだ」は、子供の心身の状況を把握する非常に有益な資料にて、関係者には有効に活用して頂きたいと思っております。

最後になりましたが、編集に携わって頂いた皆様には、深く御礼を申し上げ、「いびの子のからだ」発刊の挨拶とさせていただきます。

令和5年3月

揖斐郡学校保健会副会長 金森 豊